

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-65773

(43)公開日 平成10年(1998)3月6日

(51)Int.Cl. ^a	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 04 M 1/00			H 04 M 1/00	V F
G 06 F 3/02	3 9 0		G 06 F 3/02	3 9 0 A
13/00	3 5 4		13/00	3 5 4 Z
H 04 M 11/00	3 0 2		H 04 M 11/00	3 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 6 FD (全 5 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平8-238552

(22)出願日 平成8年(1996)8月21日

(71)出願人 391005503

東京電子設計株式会社

東京都多摩市関戸5丁目3番地11

(72)発明者 川村 兵三郎

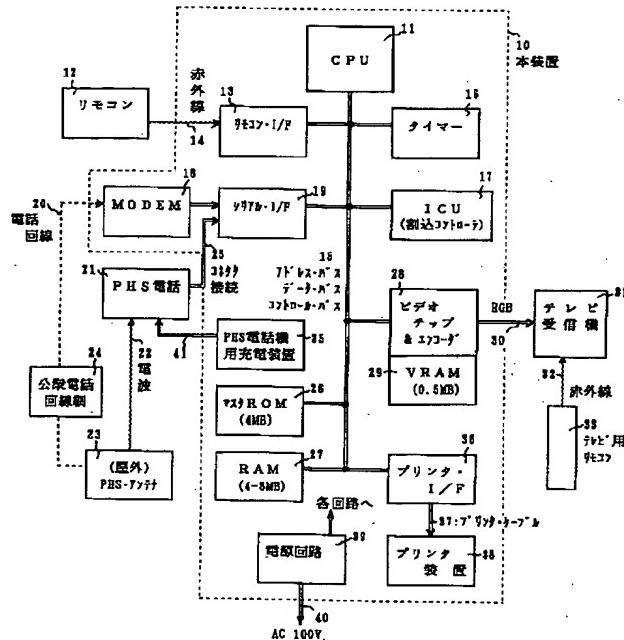
東京都多摩市関戸5丁目3番11号 東京電子設計株式会社内

(54)【発明の名称】 インターネット端末装置

(57)【要約】

【目的】 本発明の装置10はリモコン装置12の指示でPHS(登録商標)電話機21、又は電話回線20とMODEM18から入力されたインターネット信号は、シリアル・インターフェイス回路19を介してCPU11の各バス・ライン15に接続され、リモコン12で指示した処理をマスクROM26に記録済みのプログラムにより実行し、これらの信号はビデオ・チップ28を介して、家庭で使用されているテレビ受信機31に表示される。と同時にリモコン12により制御信号が入力され処理される装置を提供することにある。

【構成】 一つの筐体内にPHS電話機接続端子及び/又は公衆電話回線に接続するためのモジュール装置を内蔵し、PHS電話機接続端子及び/又は公衆電話回線からのインターネット信号を入力し、インターネット送受信を目的とした処理装置によって処理された信号内容を、内蔵するテレビ・エンコーダ回路を介して外部のテレビ受信機に表示することを特長としたインターネット信号送受信端末装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】一つの筐体内にP H S電話機接続端子及び／又は公衆電話回線に接続するためのモード装置を内蔵し、P H S電話機接続端子及び／又は公衆電話回線からモード回路を介してインターネット信号を入力し、インターネット送受信を目的とした処理装置によって処理された信号内容を、内蔵するテレビ・エンコーダ回路を介して外部のテレビ受信機に表示するとともに、各種の文字／記号等の入力をリモコン装置により制御することを特長としたインターネット信号送受信端末装置。

【請求項2】P H S電話機に内蔵する電源電池の充電用電源装置の筐体内に、請求項1の記載の装置を内蔵することを特長とするインターネット信号送受信端末装置。

【請求項3】公衆電話回線用電話機及び／又はF A X装置内蔵公衆電話回線用電話機の筐体内に請求項1の装置を内蔵することを特長とする請求項1記載のインターネット信号送受信端末装置

【請求項4】請求項1記載のインターネット送受信端末装置において、インターネット送受信信号操作をリモコン操作によりのみ行うことと特長としたインターネット送受信端末装置

【請求項5】請求項1記載のインターネット送受信端末装置において、インターネット送受信端末操作に必要な文字の入力を表示画面に表示した文字／数字／記号をマウスのクリック操作で入力することと特長としたインターネット送受信端末装置

【請求項6】請求項1記載のインターネット送受信端末装置において、インターネット送受信端末操作に必要な文字の入力をリモートコントロール装置の少ないキーで入力するために、キーを1回、又は2回ブッシュすることで複数の文字を入力することと特長としたインターネット送受信端末装置のリモートコントロール装置

【0001】**【発明の詳細な説明】**

【産業上の利用分野】本発明は、インターネット送受信端末装置を必要機能に絞って簡易化し、より多くの人にインターネット通信を利用される為の簡易なインターネット送受信端末装置を提供することにある。

【0002】

【従来の技術】従来のインターネット送受信端末装置には主としてパーソナルコンピュータ装置またはワークステーション装置（以下両者を総称して「パソコン等」と記す）等々で活用されて来ているが、特に家庭のコンピュータ装置に縁のなかった人にも比較的簡単に利用出来るインターネット専用の端末装置を提供することにある。すなわち、従来のパソコンは比較的若い人には容易に受け入れられているが、その昔若かった人及び機械に弱い女性等々パソコンに弱い人には、インターネットがどの様な内容のものかが概略分かっていても機械に弱いために仲々利用できないのが実状である。本発明

では端末機能を必要機能のみに絞り、外観を従来商品の延長線上である電話機、F A X装置等々に位置させて、テレビゲーム感覚でインターネットの送受信を楽しむことができる簡易型のインターネット送受信端末装置を提供することにある。

【0003】**【発明が解決しようとする課題】**及び

【発明の目的】本発明の目的は前述の通り、従来主としてパソコン等で処理していたインターネット送受信について、端末機能を必要機能のみに絞り外観を従来商品の延長線上に位置させて、テレビゲーム感覚でインターネットの送受信を楽しむことができる簡易型のインターネット送受信端末装置を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】以上の目的を達成するために本発明では、電話機及び／又はF A X装置、あるいはP H S電話機に内蔵の電池を充電する為の充電装置等々従来のパソコンのイメージからかけ離れた装置の筐体内に中央制御装置（以下「C P U」と記す）1 1と、C

20 P U 1 1を制御する為のプログラムを記録してあるマスクR O M 2 7と、各種の信号／データを格納するためのR A M 2 7を中心に、電話回線2 0及び／又はP H Sからのインターネット信号を送受信するためのシリアル・インターフェイス装置1 9と、これらを離れた場所からリモートコントロール制御するためのリモートコントロール装置（以下単に「リモコン」と記す）1 2と、リモコンインターフェイス回路（図面には「I / F」と表示、以下同じ）1 3を有し、これらインターネット信号等々を処理した結果の信号を家庭のテレビ受信機3 1で表示するするために信号を変換するためのビデオ・チップ及びエンコーダ2 8、並びにその出力信号をテレビ受信機3 1に接続するためのR G B信号出力信号路3 0、及びそれらのテレビ受信機3 1を制御する為のT V用リモート・コントロール装置3 3からなる。

【0005】

【作用】前記の手段により、本発明の装置1 0はリモコン装置1 2の指示でP H S電話機2 1、又は電話回線2 0とM O D E M 1 8から入力されたインターネット信号は、シリアル・インターフェイス回路1 9を介してC P U 40 1 1の各バス・ライン1 5に接続され、リモコン1 2で指示した処理をマスクR O M 2 6に記録済みのプログラムにより実行し、これらの信号はビデオ・チップ2 8を介して、家庭で使用されているテレビ受信機3 1に表示される。と同時にリモコン1 2により制御信号が入力され処理される。

【0006】

【実施例】次に本発明の実施例について図面を参照して説明する。図1は本発明に係る装置の主要機能ブロック図で、図2はその外観図である。図1を参照すると公衆電話回線2 0に接続し送られくるインターネット信号

は、屋外にある PHS アンテナ 23 と PHS 電話機 21 を介して本発明の本装置 10 に内蔵するシリアル・インターフェイス回路 19 に接続される。または通常の電話回線 20 と MODEM (モデム) 回路 18 とシリアル・インターフェイス回路 19 に接続されて、本装置 10 に入力される。本装置 10 に接続された前記インターネット信号は、本装置 10 のリモコン装置 12 から発せられた赤外線信号 14 により、該命令をリモコン・インターフェイス回路 13 にて受信され、制御信号として CPU 11 の命令コード、または入力信号となり、アドレスバス及びデータバス並びにコントロールの各種バス線路 15 を介して CPU 11、及び CPU 11 のプログラムが記録してあるマスク ROM 26 (必ずしもマスク ROM でなくても良い) のプログラム指示により各種の命令がなされる。このマスク ROM 26 には、本装置がインターネット送受信の操作を行うための必要最小限のプログラム又は命令のみ格納されているこれら命令信号及びインターネット信号は、アドレスバス/データバス/コントロールの各バス線路 15 を介して CPU 11 の命令に従い、ビデオチップ及びエンコーダ回路 28 にて RGB 信号に変換されて、家庭にあるテレビ受信機 31 に入力され、インターネット信号の状態が表示される。該命令信号は受信者がリモコン装置 12 を用い該装置が発する赤外線信号をリモコン・インターフェイス回路 13 を介して CPU 11 に入力され、インターネット信号の命令、又は受信信号をビデオチップ&エンコーダ回路 28 にてビデオ信号に変換されて、RGB 信号線 30 を通してテレビ受信機 31 に表示される。

【0007】いま、家庭のインターネット操作者は、テレビ受信機の画面を見ながらリモコン装置 12 から 0 (ゼロ) から 9、及び A から Z までの信号を入力することで、電話回線を通じインターネット回線に接続されて、インターネット回線から送られて来る信号に従って、数字/又はアルファベット信号を入力すれば誰でも簡単にインターネット通信を楽しむことができる。通常のテレビ用リモートコントロール (略してリモコン) は、概ね 0 ~ 9、及びそのたの音量調節等々 20 個程度のキーしか持たないが、本発明の本装置 10 のリモコン装置 12 では、アルファベットを入力出来るように改良を加えたもとなっている。すなわちビデオ録画装置 (又はビデオカセットレコーダ: VCR) によく利用されているように蓋が付いた二重構造とし、蓋を開けると 0 ~ 9、その他多種類のコントロールが可能なように、0 ~ 1 及び A から Z 迄の必要なキーを並べてあるものを利用するか、または 0 ~ 9、及びその他のキーを利用しチョンと 1 回押せば A、チョンチョンと 2 回押せば B、別のキーでチョンと 1 回押せば C、チョンチョンと 2 回押せば D、という様にすることで、全部で約 30 程度のキーがあれば 0 ~ 9、及び A ~ Z、並びに、(カンマ)、(ピリオド) / (スラッシュ) 等々インターネット通信

に使用する最低のコマンドを入力することが出来るようになれば良い。但し、インターネットの場合ひらがな/カタカナ入力はあまり利用されないのでキーとしては不要であるが、ひらがな/カタカナはローマ字変換で簡単に作成出来るし、インターネットで E メールを送信したい場合があるが、ローマ字変換を利用すれば「かなコードキー」がなくても実行できる。もちろん通常のパソコン用のキーボード (JIS 形式の) を接続できる端子を設けておけば、通常のキーボードが使用できることは言う迄もない。

【0008】さらに本装置の場合にはリモコン装置の略中心下部に、ボタン形式のマウスが装備されているものとし、ほとんどの操作はマウスにより操作可能な様にプログラムしてあれば良い。さらに本装置の場合、表示画面下部にアルファベットの文字等を表示させ、マウスでクリックすれば該アルファベットを入力出来るようにプログラムしてあれば、入力スピードは別として文字を入力することができる。尚、タイマ回路 16 は、本装置 10 の為の時計信号発生回路で、装置全体の時計表示及び計時信号を司る。ICU (割り込みコントローラ) 17 はリモコン装置 12、又はインターネット信号の他の命令を処理中に優先度の高い信号を処理させる為の信号/又は命令処理回路である。RAM 回路 27 は CPU 11 が処理するに当り、中間の処理信号を一時的に保存/保持するメモリ素子である。テレビ用リモコンは通常のテレビ受信機 31 を操作する為にテレビ受信機に付属のリモコン装置を意味しているが、本装置 10 からの信号が RGB 信号を受信するようになっているから RGB 信号受信に切り換える必要があるが、通常のビデオ録画装置のように 1 又は 2 チャンネルに変換してテレビ受信機 31 に入力する方法もある。ここではどちらでもよい (RGB の方が画質が概して 1 又は 2 チャンネルに変換する場合より優れているので RGB 端子と記したまでである)。VRAM 29 はビデオチップ&エンコーダ装置 28 が動作するための記録用のメモリ素子でテレビ受信機の画面を一時的に保持するメモリ素子である。

【0009】さらにプリンタ・インターフェイス回路 36、プリンタ装置 38 は、本装置の信号を印刷するためのプリンタ装置 38、及びその回路であつて必要がなければ接続は不要であるがあつた方が便利であることは言う迄もない。図 2 は本装置 10 の外観図で、本装置 10 は通常の PHS 親機機能付き/及び充電装置付きの電話機にインターネット送受信端末装置を附加した時の装置である。図 2 においては図 1 と同じ機能は同じ番号をしてあるので、説明の要は無いと考える。他の実施例としては、本装置を FAX 装置内に本装置を収納して実施することも可能である。

【0010】

【発明の効果】以上説明したとおり、日本においては家庭でパーソナルコンピュータ装置を使用しているのは、

今の所ごく一部であり、テレビ受信機、ビデオ録画装置のごとくどの家庭にあると言うものでもない。その理由はパーソナルコンピュータ装置そのものに馴れていないと利用しにくいこと、家庭での情報処理そのものの必要性が薄いこと、等々であると考える。従って家庭でのパーソナルコンピュータ装置の普及は普及率としてはごく緩やかな速度であろうと考える。一方インターネット通信は、パーソナルコンピュータ装置の普及とは対称的に世界的に急速に進んでおり、誰もがインターネット送受信を楽しんで見たいと考えているに違いない。よって、本装置はパーソナルコンピュータ装置のようにぎょうぎょうしくなく、電話機やFAX装置等々と同等の手軽さでインターネット送受信を楽しむことが出来る端末装置を提供することにあり、本装置はビデオ録画装置より手軽さでインターネット通信を楽しむことが出来る装置を提供することにある。

【0010】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示す機能ブロック図である。

【図2】本発明の実施例を示す外観図である。

10、本発明となる装置の本体部分

11、本装置のデータ、命令を制御するCPU

12、本装置に命令及び文字を入力するリモコン装置

13、リモコンの信号を本装置に入力するインターフェイス回路

18、電話回線からの信号を変換するMODEM(モデム)装置

19、MODEMからの信号を本装置に入力するインターフェイス装置

10 24、公衆電話回線

26、本装置のCPUを動作させるプログラムを格納してあるメモリ素子

27、各種のデータを格納するメモリ素子

28、本装置の信号をテレビ受信機で表示するための信号変換器

31、本装置の信号を表示するテレビ受信機

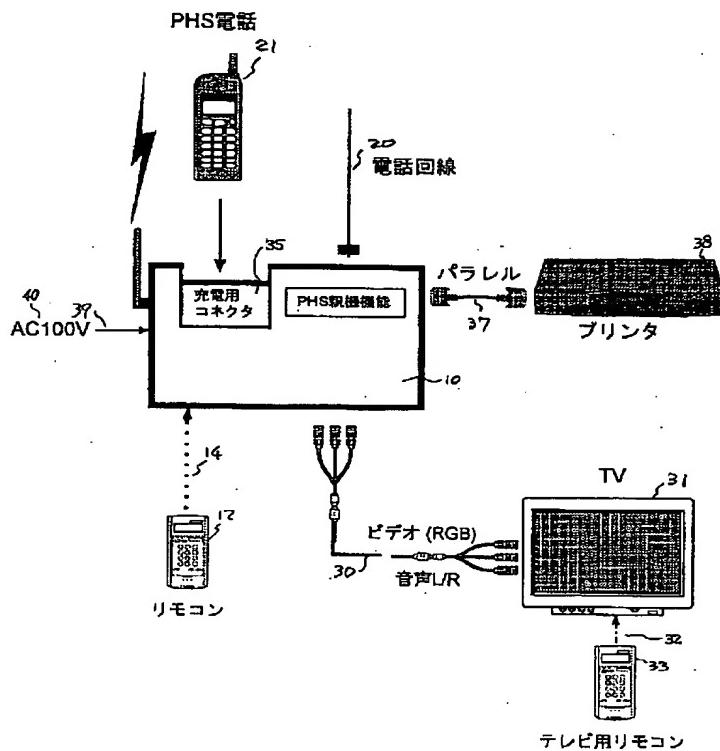
35、PHS電話機に内蔵する電池の充電装置

38、プリンタ装置

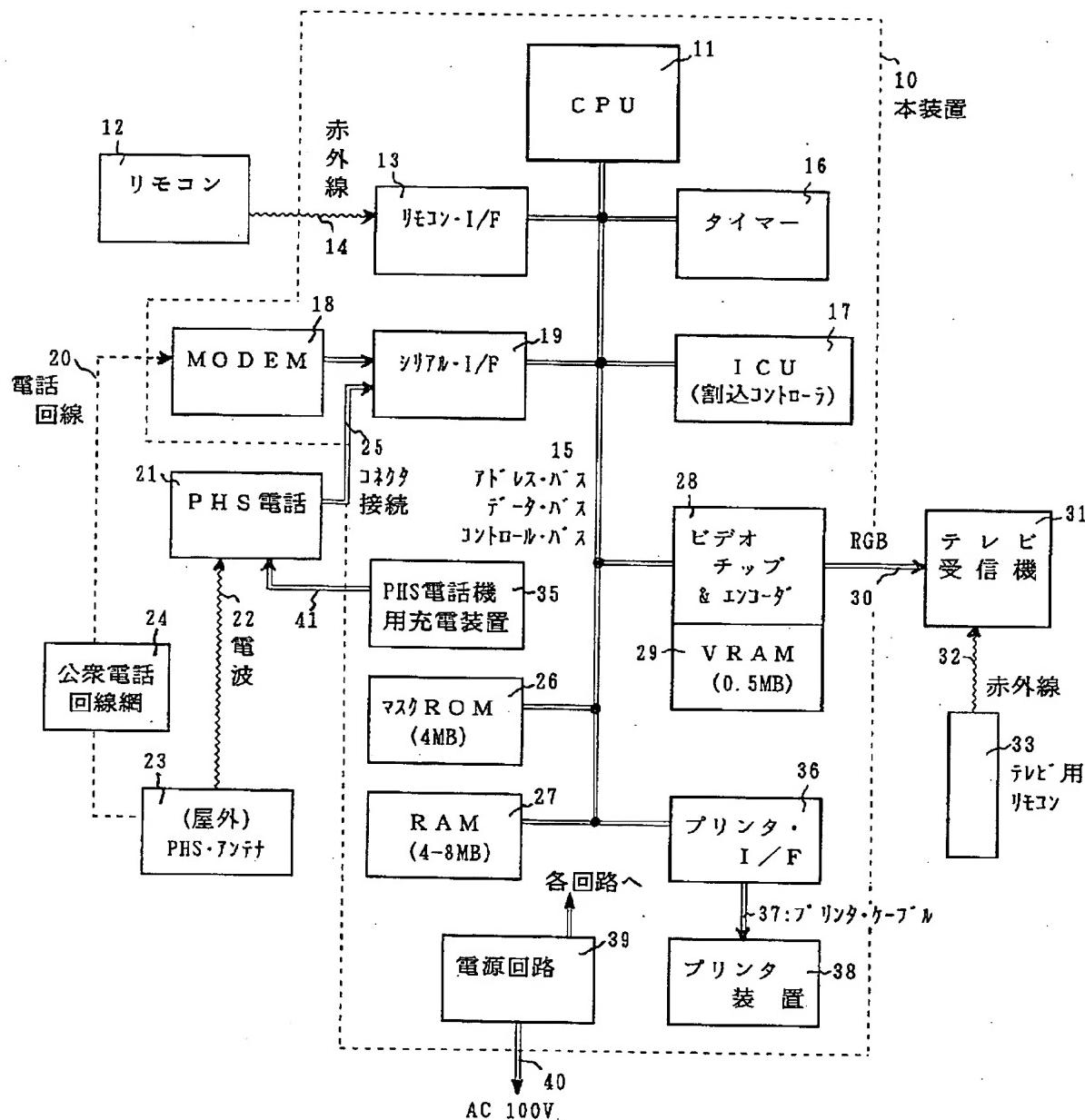
39、本装置に電源を供給する電源回路

20

【図2】



【図1】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

H 04 N 1/00
5/44

識別記号

107

庁内整理番号

F I

H 04 N 1/00
5/44

技術表示箇所

107 Z
Z